

住宅選びの CHECK POINT

住居を訪問する前の CHECK POINT

- 賃料の上限は ⇒ 管理費なども含めて毎月支払える金額を決めておく。
- 住みたい場所は ⇒ 通学を考えて選定する。どの辺からどの辺までと幅のある選定をすること。
- 広さと間取りは ⇒ キッチン、収納など使い方を考えて、広さの希望があれば決めておく。
- 設備の有無、こだわりは ⇒ エアコン、冷蔵庫などの有無。また環境や間取り等で譲れない点もあげておく。
- 建物の種別は ⇒ アパートかマンションか下宿かを決めておく。
- 大学・駅からの距離は ⇒ 徒歩10分以内、自転車で10分前後、またバス通学でも可など具体的に設定する。
- 建物の築年数は ⇒ 新築か、それ以外か。それ以外なら築何年までOKか。
(築10年以上なら賃料が安くなる場合もあります)

住居を訪問した時の CHECK POINT

住居を現地で実際に確認してください。

- 駅・バス停からの所要時間は
- 大学までの所要時間は
- 近くに商店街やスーパー等はあるか
(営業時間の確認等)
- 夜道は安全か
(街灯が多いか、人通りはあるか)
- 昼と夜の様子はどうか
- 家の前の交通量や騒音はどうか
- 駐車場・駐輪場はあるか
- 救急病院や歯科医院などは近くにあるか
- 飲食店やコンビニエンスストア等が近くにあるか
- 郵便局や銀行の位置確認
- 部屋の広さは充分であるか
- 部屋の間取りは適切であるか
- キッチンやベランダは使いやすいか
- 鍵やチェーンはしっかりしているか、ピッキング対策は施されているか
- 鍵は前入居者が退居した後交換されているか(必ず確認しておくこと)
- 窓やベランダに雨戸はついているか
- 押入やクローゼットの収納スペースは
- コンセントの数と場所は
- エアコンや給湯器などの付帯設備は
- 日当たり、風通し、湿気の具合はどうか
- 建物の構造(鉄骨か木造か)は
- 隣人の話し声等が自分にとって気にならない範囲か
- 部屋の前に電柱などがいないか
- メジャーで、実際に測ってみましょう、入居する際の物の配置と使い勝手を考える目安にもなります

◎できるだけ多くの住居を見て比較検討してください。

◎隣の部屋の人や、上下の階の人など、その住居に住んでいる人に、直接聞いてみるのが一番です。

◎高校時代の先輩やOBなど、知り合いに大学周辺の状況を聞くのも一つの方法です。